

急速に悪化する雇用の対策求める



村上かずしげ議員は、一般質問で、市立病院の給食に有害物質メラミンが混入した問題や愛国浄水場の更新や民間委託問題とあわせ、雇用対策などについて質問しました。

釧路管内の有効求人倍率は0.34、全国でも最低水準です。共産党や労働組合の申し入れで、市は3月末まで47人の臨時職員を採用しましたが、その後どうするのかと迫りました。雇用の質問の概要を紹介します。

失業者への緊急施策

派遣切り、解雇などで、ホームレスとなったままの人がたくさんいるが、帰省費の貸付、食事つき住宅の提供など、釧路市として支援できないか。
答 法律で、ホームレスの支援は当該自治体の責務とされている。



生活資金貸付制度の条件緩和

勤労者生活資金貸付制度の融資限度額、返済期間、利率、保証人の取り扱いなどを緩和すべきではないか。
答 制度のあり方を含めて、見直したい。

雇用悪化に伴う緊急施策

市として高卒の就職内定状況について、どんな見通しをもっているのか。
答 最終的には9割台の就職率、未就職者は20〜30人ぐらいと見ている。
問 未就職者を対象に、22年度の新規採用を前倒しして実施しないか。
答 現行は定員に達しているので、中途採用はしない。
問 21年度の補正予算の作成において、財源確保に努め、単費の事業も含め雇用創出に力を尽くすべきではないか。
答 国の様々な補助を得ることで、数倍の規模の運用ができると考えている。市民生活に大切なことを考えていきたい。

除雪費を増やしてツルツル路面对策を

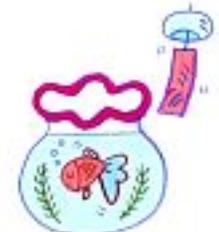
除雪予算を増額して、通学路、病院、公共施設のツルツル路面对策と排雪をこれまで以上にしっかりすべきと質問しました。

蝦名市長は、「危険な箇所は、ロードヒーティング、融雪剤の散布などで対応している。すべてを行政がやるとはならない。排雪も豪雪地帯ではないので、一定の基準を設けてやるとはならない。財政の面ではいまの枠組みの上で対応したい」という答弁でした。財政難だからといって、ロードヒーティングの一部停止をしていながら、市民には本当に冷たい答弁です。



6月議会前に、市長・市議会議長・石炭対策特別委員9名などが、こぞってベトナム訪問。内容はコールマインで行われている研修事業の継続要請ですから、必要な要請とは思いますが、それにしてもこんなに行かないとダメなのでしょうか。全員分で旅費は456万円です。

共産党議員団はベトナム派遣のものには賛成しましたが、人員は大幅に削減するよう意見を述べました。



石炭対策特別委員全員でベトナム？

村上かずしげ通信



旭町の借り上げ公住を視察

3LDK3戸、2LDK3戸の借り上げ公住が出来上がりました。建設費は9.4億円、国からの補助は1.26億円ほどありました。市は20年間、オーナーに毎年453万円の借上料を払うこととなります。入居者は家賃のほかに月々、オール電化のレンタル料が5千円、駐車料金が8500円かかります。室内はバリアフリー、オール電化ですから給湯器、ストーブ、レンジ台等が備え付けになっています。